



記念講演 13:30～14:30

日本における社会福祉事業の先駆者であり、『孤児の父』と謳われる石井十次。岡山孤児院が有名ですが、実は宮崎県児湯郡上江村（現：高鍋町）の出身です。被災や戦災などによる孤児たちの救済にあたり、晩年は郷里の木城町茶臼原^{ちやうすばる}に岡山孤児院を移転させ生涯を福祉に捧げた宮崎を代表する偉人です。

今回、全国大会を開催するにあたり、この郷土が生んだ社会福祉事業の先駆者石井十次を描いた映画「石井のおとうさんありがとう」を監督された山田火砂子監督をお招き致しました。

テーマ：『 石井十次の足跡について 』

講師： 山田 火砂子 氏 （映画監督）

東京生まれ。戦後女性バンド「ウエスタン・ローズ」で活躍。舞台女優を経て、映画プロデューサーに転身。実写版の「はだしのゲン」、「春男の翔んだ空」、「裸の大將放浪記」など数多くの作品製作に携わる。初の監督作品としては、アニメ映画「エンジェルがとんだ日」がある。これは重度の知的障害者である長女とともに歩んできた半生を題材としたもの。日本初の孤児院を作り、多くの子供を救った石井十次の生涯を映画化した「石井のおとうさんありがとう」では平成17年度日本児童福祉文化賞を受賞。最新作「筆子・その愛」では女性の地位と障害者福祉の向上に尽くした石井筆子を描いている。著書に「トマトが咲いた」があるが、これは娘2人を育てながら、映画プロデューサーとして歩んできた、泣き笑いの29年間をまとめたもの。他に「夢見る火砂子さん映画石井十次を撮る」。また学校・施設・イベント等で、福祉、教育、子育て、平和など幅広いテーマで講演活動も行っており、実績も豊富である。

主な監督作品 「エンジェルがとんだ日（アニメ映画）」（1996年）
「石井のおとうさんありがとう
— 岡山孤児院・石井十次の生涯 —」（2004年）
「筆子・その愛— 天使のピアノ —」（2006年）

閉会式 14:40～15:10

※ 記載されている講師等の所属、役職につきましては、2007年3月現在のものです。尚、法人名・敬称は一部略させて頂きました。